

【会長賞…小学生の部】

「僕のお母さん」

福岡県・松ヶ江南小学校
6年 内村 駿太さん

僕のお母さんは、生まれつき右手全指欠損という障がいがあります。僕が、お母さんの右手がなんとなく僕やみんなとちがうなと気がついた時、

「どうしたん。」

と聞いたことがあります。その時、お母さんはゆっくりとわかりやすく教えてくれました。おぼあちゃんのおなかの中にいる時、右手がうまく育たなくて、指がくっついてしまったことや、そして、何度も何度も手術をして、今の右手になったそうです。僕がおなかの中にいるとわかった時、お母さんは僕の手がちゃんとあるか、心配で眠れなかったようです。エコーで、僕の手がちゃんとあるとわかった時は、すごく安心して、涙が出たと話してくれました。

お母さんは、右手に障がいがあっても料理もするし、洗たくだって、そうじたってするし、ピアノだってひけるし、何でもできます。僕はそんなお母さんを見て、いつもすごいな、

僕もがんばろうとパワーをもらっています。そして、何よりいつも笑顔で僕を支えてくれます。そんなお母さんが大好きです。

僕が小学校に入学する時に、お母さんが

「お母さんの右手のことで、友達から何か言われたり、いやな思いをすることがこれからたくさんあると思う。ごめんねでも、お母さんは、しゅんちゃんを守るからね。お母さんはいつもしゅんちゃんの味方だよ。」

と言って、抱きしめてくれました。お母さんの右手は、お母さんの手だし、僕はそれがふつうと思っていたけど、友達から見るとやっぱちがうんだなと、初めて気づかされました。でも僕は、お母さんは何でもできるし、お母さんのすごいところをたくさん知ってる。友達から何と言われようと、大好きなお母さんに心配かけたくない、僕がしっかりしようと思えました。だから、友達や知らない人にお母さんのことを言われても平気だし、

「僕のお母さん、何でもできるよ。」

とみんなに教えました。すると、友達は何も言わなくなつて、僕は嬉しかったです。

お母さんは、今保育士をしています。保育士になったのは、障がいがある子どものお母さんの力になりたいと思ったのと、お母さんみたいに障がいがある人がいるというのを子どもたちが身近に感じてくれたらいいなと思つてなつたと教

えてくれました。そして、お母さんは、いつもお母さんよりも、もつともつと重い障がいがある人がたくさんいる。お母さんは何でもできるから幸せだよと言います。お母さんもたくさん辛い思いやいやな思いをしてきたと思うけど、お母さんはやっぱり強いな。僕も負けないぞと、心に強く思いました。いつもお母さんにパワーをもらっているそれ以上のパワーをこれからは僕がお母さんにもつともつとあげたいと思います。いつもありがとう。